

SUSE、Rancher の最新版でオープン性と相互運用性を拡張

- Rancher 2.7.2 のリリースにより、SUSE はパフォーマンス、安定性、セキュリティにおける新たなマイルストーンを提供し、拡張性の強化やエコシステムの採用を促進するセキュリティの改善を実現します。
- SUSE Collective のナレッジベースへのアクセスや、ポリシーと OS の自動管理における SLA サポートなどの機能強化により、SUSE の商用エンタープライズ向けサブスクリプションである Rancher Prime は、お客様の価値実現までの時間を加速させます。
- SUSE は、Rancher Academy の再スタートとオープンソースプロジェクトのメジャーアップデートにより、クラウドネイティブコミュニティへの継続的なコミットメントを示します。

オランダ、アムステルダム - 2023年4月18日 - 革新的で信頼性と安全性の高いエンタープライズグレードのオープンソースソリューションのグローバルリーダーである [SUSE®](#) は、本日、Rancher 2.7.2 のリリースを発表いたします。最も広く採用されている Kubernetes 管理プラットフォームの最新アップデートでは、エコシステムでの採用を促進するために設計された拡張性の強化が含まれています。また、SUSE は、Rancher Prime の最新リリースで、Rancher のオープンソース商用サブスクリプションであるエンタープライズグレードの機能を拡張し、Rancher Desktop などの人気のオープンソースプロジェクトの更新を行いました。無料のトレーニングポータルである Rancher Academy も再スタートさせました。

SUSE のエンタープライズコンテナ管理担当ゼネラルマネージャーである Peter Smails は、「Kubernetes のエコシステムが拡大し、より複雑になっていく中で、イノベーション、相互運用性、そしてシンプルさはかつてないほど重要です。私たちが無償で提供する Rancher UI 拡張フレームワークは、ユーザーや独立系ソフトウェアベンダー（ISV）がカスタマイズしたユーザー体験を作り出すことをサポートし、Kubernetes 環境全体の運用を大幅に向上させます」と述べています。

Smails は、Rancher の UI 拡張フレームワークは、SUSE の技術パートナーのグローバルネットワークで特に人気が出ると考えています。[SUSE One パートナープログラム](#) では、「Tested & Certified - Rancher Extension」認定が組み込まれ、パートナーは Rancher のアプリケーションカタログ内から拡張機能を構築してホストし、この新しい認定基準によってその信頼性を検証できるようになりました。更新されたプログラムは、Rancher パートナーエコシステム全体でより多くのコラボレーションと相互運用性を奨励し、Rancher Prime サブスクリプションのサポートによって支えられます。

Rancher ユーザーのための Kubernetes 体験のカスタマイズ

SUSE は、Rancher 2.7.2 のリリースにより、世界で最も広く導入されている Kubernetes 管理プラットフォームとしてのリーダーとしての地位を拡大し続けています。新しい Rancher UI 拡張フレームワークは、UI 機能を Rancher

Manager から切り離し、Rancher UI を独立して拡張・強化する機能をユーザーに提供します。これにより、ユーザーは Rancher プラットフォームの上に構築し、カスタム、ピア開発、または Rancher 開発の UI 拡張機能を構築することで、Rancher をより環境に統合できるようになります。

本日より、Rancher が開発した以下の 3 つの拡張機能を利用できます：

- Kubewarden Extension は、Rancher クラスタ全体で Kubernetes ポリシーのライフサイクルを管理するための包括的な手段を提供します。
- Elemental Extension は、クラウドネイティブ OS と Edge デバイスを Rancher プラットフォーム内で管理する機能を提供します。
- Harvester Extension を仮想化された Harvester クラスタを Rancher にロードすることで、簡単な管理および検査を可能にします。

SUSE の Rancher に対する戦略は、ハイブリッドおよびマルチクラウド・マルチクラスター管理のコアパワーを提供し、拡張プロバイダーが同じペインオブグラス（一画面）内で顧客に高度にカスタマイズされたユーザーエクスペリエンスを提供することです。

イノベーションプロジェクトの勢いを維持

SUSE のオープンソースイノベーションへの取り組みは、Rancher にとどまりません。SUSE は、オープンソースプロジェクトの広範なポートフォリオをイノベーションのサンドボックスとして利用し続けており、最近のアップデートでは以下のようなものがありました：

- [Rancher Desktop 1.8](#) では、自動起動ログインや、コマンドラインツール rdctl で設定可能なすべてのアプリケーション設定など、設定可能なアプリケーション動作や、新しい実験的アップデートが追加されました。
- [Kubewarden 1.6.0](#) では、DevSecOps チームが従来のプログラミング言語とドメイン固有言語の両方を使用して Policy as Code を書くことができるようになりました。
- [Opni 0.9](#) は、今年後半に予定されている GA に向け、いくつかの機能アップデートを行いました。
- [S3GW \(S3 Gateway\) 0.14.0](#) では、ライフサイクル管理、オブジェクトのロックとホールド、UI の改善などの新機能をご用意しました。
- [Epinio 1.7](#) では、OpenID Connect を使用して他のアプリの認証を推進する ID サービスである Dex の統合と、SUSE の S3GW による UI が追加されています。

コミュニティ教育への継続的な投資

Rancher と Kubernetes を使いこなすための無料教育プラットフォーム「[Rancher Academy](#)」が、Kubernetes、コンテナの基礎、Rancher マルチクラスター管理、コンテナセキュリティなどのトピックを扱うコースを追加し、再開しました。



SUSE のプロダクトマーケティング & コミュニティ担当副社長である Tom Callway は、Rancher Academy の再開について以下のように話します。「クラウドネイティブの専門知識不足は、依然として Kubernetes の普及を妨げる最大の要因の 1 つです。Rancher Academy を再開することで、Kubernetes のようなクラウドネイティブプラットフォームの複雑さを解明し、新しいワークロードをデプロイする際にユーザーが直面する障壁を解消することを目的としています。Rancher Academy により、Rancher ユーザーは Kubernetes の知識を増やすための無料の高品質な教育リソースを手に入れることができ、ユーザーがより速く、そしてより安全に Kubernetes を構築できるよう支援します」

Rancher Prime のお客様のパフォーマンスと回復力を強化

2022 年 12 月の Rancher Prime の提供開始に続き、SUSE は、企業のお客様がエンタープライズグレードの本番クラスタのパフォーマンスと耐障害性を改善できるよう設計されたエンタープライズ商用サブスクリプションに、新たな付加価値コンポーネントを追加しました。

最新の Rancher Prime の機能を通じて、お客様は以下のことが可能になります：

- **信頼できるデリバリーと拡張性を体験：** Rancher v2.7.2 の新しい UI 拡張フレームワークのリリースにより、Rancher Prime のお客様は、Kubewarden および Elemental 拡張機能を通じて、Rancher プラットフォーム内でネイティブにポリシー & OS 管理の SLA に裏付けられたサポートを受けることができます。
- **より効率的にビジネス課題を解決：** プライム契約者は、SUSE のカスタマーエンゲージメントプラットフォーム「SUSE Collective」にアクセスできます。このプラットフォームには、ピアへのアクセス、専用のロードマップ資料、リファレンスアーキテクチャ、スケールでの運用に関するドキュメント、ホワイトグローブのオンデマンドスタートアップガイドが追加されています。

Rancher by SUSE の詳細については、KubeCon Europe の D1 ブースでご確認いただくか、www.rancher.com/ をご確認ください。

SUSE について

SUSE は、革新的で信頼性の高い安全なエンタープライズグレードのオープンソースソリューションの世界的リーダーであり、Fortune 500 社の 60%以上がミッションクリティカルなワークロードで SUSE を利用しています。SUSE は、ビジネスクリティカルな Linux、エンタープライズコンテナ管理、エッジソリューションの専門ベンダーとして、世界中のパートナー様やコミュニティと協力して、データセンター、クラウド、エッジなど、あらゆる場所でイノベーションを実現できるようにお客様を支援しています。

SUSE は、「オープンソース」の意味を本来のオープンソースに戻します。そして、お客様に今日のイノベーションの課題に対応できるスピードと、今後のソリューション戦略の進化をサポートします。世界中で 2,000 人を超える従業員を擁しており、SUSE は、フランクフルト証券取引所に上場しています。

将来予想に関する記述

「目的とする」、「目標とする」、「～するつもりである」、「思う」、「予測する」、「計画する」、「期待する」その他同様の表現を含む、弊社の将来の期待、計画、見通しに関する本プレスリリースの記述は、注意して読む必要があります。



実際の結果は、競合他社の状況、お客様との取引の発展、お客様との関係への依存、成長や吸収合併の管理、未検出のソフトウェア問題の可能性、新型コロナウイルスのパンデミックおよび景気低迷の影響のリスク、低価格化の圧力、インターネットの実現性など、さまざまな重要な要因の結果、このような将来予想に関する記述によって示されたものとは大きく異なる場合があります。また、本書に含まれる将来予想に関する記述は、本プレスリリースの日付の時点での見解を示したものです。これらの見解は、変更される可能性があります。当社には、将来予想に関する記述を更新する義務は一切ありません。これらの将来予想に関する記述は、変更される可能性があり、本プレスリリースの日付以外の日付の時点での当社の見解を示したものとして使われるべきものではありません。

###

著作権 2023 年 SUSE LLC。All rights reserved.SUSE および SUSE ロゴは、米国およびその他の国における SUSE LLC の登録商標です。すべての第三者の商標は、それぞれの商標権者に帰属します。

